



～カラフルでヘルシーな世の中を☆～

NICE 月例報告書 (2022年4月号)

春真っ盛りの今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか？さて、特活) NICE (ナイス = 日本国際ワークキャンプセンター) では月例報告書を作り、皆さまにお届けすることに致しました。季刊「NICE プレス」の発行月 (2, 5, 8, 11 月) を除く、毎月上旬の発行を予定しております。

今までの NICE の広報は募集が中心で、報告をもっと充実させることが長年の課題だったため、その一環として始めます。今回はその記念すべき第 1 号！最後までお読み頂けると幸いです☆

【目次】(クリックすると各記事へ！)

- ① 一目で分かる・3月の活動実績一覧表
- ② Pick up! 活動のハイライトを幾つかご紹介
- ③ 参加者募集中☆ 4月の活動予定一覧表
- + 事務局日記 ～今回は新職員 2 名のご紹介

① 一目で分かる・3月の活動実績一覧表

開始	終了	開催地	主なワーク	種類	人数
03/01	03/12	カンボジア Kampot 州	自然と暮らしを守る、マングローブ保全	海短	6
03/01	03/14	鹿児島県和泊町	離島で人手不足の農家で、芋収穫や花卉	国短	10
03/07	05/31	タイ Trang 県	農家滞在しながら、有機農業やパン焼き	海長	1
03/12	03/13	大阪府富田林市	間伐した倒木の皮むきで、里山を保全	国超	#
03/12	03/16	静岡県裾野市	野菜栽培、野鳥等が寄ってくる森づくり	国超	5
03/13	03/20	高知県大川村	人口最小の村で森林等の保全、教育支援	国短	7
03/14	03/23	三重県名張市	ナショナルトラストの里山整備	国短	8
03/14	03/25	大阪府富田林市	間伐、草刈りや道作りで、里山を保全	国短	10
03/14	03/27	石川県加賀市	伝統建築保全地区での農作業や地域活動	国短	6
03/17	03/31	徳島県鴨島町	複合型で児童館の運営補佐、児童と交流	国短	4
03/18	03/27	奈良県御所市	耕作放棄地の手入れ、有機農業手伝い	国短	7
03/19	03/20	広島県呉市	限界集落のビール醸造所で開設式手伝い	国超	#
03/19	03/23	山形県最上町	平飼養鶏農家で、鶏の世話や畑仕事	国超	1
03/19	03/31	カンボジア Kampot 州	自然と暮らしを守る、マングローブ保全	海短	6
03/20	-	福岡県八女市	ワークキャンプの拠点に、ピザ窯作り	国超	#
03/21	04/05	鹿児島県和泊町	離島で人手不足の農家で花や芋の手入れ	国短	1
03/26	-	オンライン+神奈川県横浜市	ウクライナの提携 NGO 職員のトーク	イベ	27
03/26	03/27	東京都新宿区+神奈川県横浜市	Stand with Ukraine の資金集めに参加	国超	12
03/26	03/27	福岡県福智町	竹林整備、猪除けの柵作り	国超	#

* ここでは 3 月開始分のみを記載 (この他に 2 月以前に開始し、3 月にも行っていた活動もございます。)

* ワークの色は主な分野 (複数の場合も多いが、一つに限定): 環境 農業 開発 文化・平和 教育 福祉

* 種類: 国長 = 国内中長期 (30 日間～1 年間)、国短 = 国内短期 (7～29 日間)、国超 = 国内超短期・週末 (1～6 日間)、海長 = 海外中長期、海短 = 海外短期、イベ = イベント。

* 人数: 参加ボランティアの人数 (部分参加含む)。この他に住民の方々が大勢参加! #は確認中

* 太字の活動は次頁以降でハイライトをご紹介します (今回はこの他、2 月開始のエストニアも)

② Pick up! 活動のハイライトを幾つかご紹介

[\(目次へ戻る\)](#)

☆ 週末ワークキャンプ&特別イベント「Stand with Ukraine」(3/26~3/27)



土曜日の午後は、新宿駅南口で「Stand with Ukraine Japan」の募金活動に参加しました。

「Stand with Ukraine Japan」は、日本に暮らすウクライナからの方々と日本人が中心になって現地の状況を伝えたり、渋谷・新宿等での抗議活動やチャリティー・アート展の企画、寄付を通じた現地の生活支援等を行っています。

日本、ウクライナ、ロシア、ベラルーシ、国籍も年齢も全く異なる人達が集まり、平和や募金を呼び掛ける。それに対して子どもから戦争を経験してきたであろうお年寄りまでが『がんばれ』とお金を入れてくれる。人の優しさ、温かい繋がりを感しました。(NICE 職員 佐藤)

夜は横浜の全国事務局へ移動して、「Stand With Ukraine ナイト」を行いました。

オンラインの参加者も含め 27 名が参加。ウクライナのワークキャンプ経験者を含む NICE の経験者、NICE が初めての方も多数。中高生の参加者もあり、関心の高さが伺えました。

まずウクライナの提携 NGO・Alternative-V の事業調整職員（兼キエフ経済学校の学習プログラム・コーディネーター）の Anastasia さんとオンラインでつなぎ、実体験も踏まえたウクライナの状況を語って頂きました。

その後は小グループに分かれ、自分達にできること、NICE としてできることを話し合いました。出たアイデアの一部をご紹介しますと

- それぞれウクライナに繋がりのある人や団体をシェアし、連携し合っていく。
- 自分の通っている中学校でも、全校集会等で日本の子どもに今起こっていることを分か

りやすく伝えるワークショップを開く。

- 姉妹都市交流を結んでいる日本とウクライナの市町村でのワークキャンプを企画する。

ロシアへの経済制裁や日本も軍事力を持つべきか等、様々な意見も飛び交いました。その後、NICE 事務局では手作りボルシチ（実はウクライナ発祥）とペローギ（ウクライナ餃子）を食べながら、今後のアクションや戦争について語り合いました。(NICE 事務局長 井口)

参加した寄付者からも、感想を頂きました！

「昨日は参加できて良かったです。2000 年代の世界で、こんなことが起こるなんて、人間って反省できない生き物なんじゃないかと悲しくなります。本当に微力だけど、自分の身の回りでできることを、考え続けることを投げやりにならないでやっていこうと思える時間でした。アナスタシアさんと時間を共有できたことで、他人事じゃなくて「自分事」になった感覚が確かにあります。」(U・Y さん)

ウクライナと世界の平和を強く求める、緊急声明とアクション

NICE では本声明を 3/7 に発信し、随時更新しております。

同時に募集を始めた寄付には現在までに、17 名から 215,000 円を頂いております。この場を借りて厚くお礼申し上げます。



NICE では海外へのボランティア派遣を 2021 年 8 月より再開しました。そしてこの 2～3 月に、現地 NGO と共催するワークキャンプも 2 年ぶりに復活しました！今回はその様子をお伝えします。

☆ 海外ワークキャンプ・エストニア Kiidi Farm より(2/25～3/6)



ESTYES と共催。Kiidi Farm は、エストニア南東部にある美しい有機農場。親子イベントや引きこもりの若者のファームステイも企画。伝統文化保全にも力を入れており、過去のワークキャンプでは伝統的なサマーキッチンづくりなども行ってきた。

ワークは 1 日 5 時間程、エコビレッジで丸太運びや薪割り、薪運び等。終盤にはあるイベントのコース整備や休憩所の手伝いもした。

食事はじゃがいも料理が多かった。黒パンは

少し癖があるが、食べられないエストニア料理はなかった。宿泊はゲストハウス、外の気温はかなり低いが、室内はしっかり温かい。一日の疲れを癒してくれるサウナは最高でした！

成果として、人手不足の Farm でワークを手伝うことによって大きく貢献した、かつエストニアの自然保護の力にもなった。そして日本の文化を楽しんでもらえた。

(リーダーの伴場海璃さんより、抜粋)

伴場さん(ばんちゃん)は現地で人気のイベントに飛び入りしました。もっと詳しい報告を見たい方は[こちら](#) または上の QR コードまで！

☆ 海外ワークキャンプ・カンボジア TFC より(3/1～3/12)



CYA (Cambodian Youth Action) と共催。村では開発や違法伐採でマングローブが減り、生態系と漁業が大打撃を受けてきたため、エコツーリズム・センターを運営しながら森を再生。NICE も企業連携やカーボン・オフセット等、様々な形で連携してきた。

ワークは 9-12 時、14-17 時に種収集とマングローブ植樹、泥つめ&苗床並べ。橋の修繕も。村人も全員総出で行ったので賑やかで、カンボジア人の経験値を強く感じた！

キャンプメンバー 6 人と少ない事と、植える準備のできたマングローブは少なかったもので、植樹は 2 回。約 5000 の種を苗床に刺した。

3 年前から TFC のバンガローが進化していてビックリした。バンガロー内にシャワールームができ、新しく橋がかかり、道は広くなり、完全に快適なお泊まりであった！

(日本側リーダーの柳川総太郎さんより、抜粋)

柳川さん(そーちょ)は 3 年前にも現地でリーダーをしてくれました。もっと詳しい報告を見たい方は[こちら](#) または上の QR コードまで！

国内でも沢山の活動を続けております。今回はそのうち、3月に初開催された2つの現場から！

☆ 国内ワークキャンプ・高知県大川村より(3/13~3/20)



特活)びざん大学と共催。日本で人口最少(離島除く)の大川村は四国のど真ん中に位置し、1,000m級の山々に囲まれる。現在村の子どもは25人。今回は清流吉野川の上流・大川村と、最下流・徳島市でも活動する吉野川水系ワークキャンプです。

徳島では花ロードの水やりや川掃除、大川では川掃除、薪割り、きのこの菌を原木に入れる、子どもたちとの交流等を行った。

宿泊は徳島では徳島駅から徒歩20分程度にあるマンションの一室。大川では廃校を活用した、自然教育センター白滝。

夏にワークキャンプ開催の決定。薪割りやテラス修繕で貢献。ハンバーグ試食会で意見を出す。大川村の魅力を知る。大川村の子どもと交流などの成果がありました。

(リーダーの山村亮介さんより、抜粋)

山村さん(のび)からのもっと詳しい報告は[こちら](#) または上のQRコードまで！

☆ 国内ワークキャンプ・静岡県裾野市より(3/12~3/16)



特活)里山会公文名ファイブと共催。3日間以上のワークキャンプは初。箱根外輪山や富士山・愛鷹山が一望できる里山を守り、良くして、子ども達へ継ぎたいと考え、『地域の宝、里山をこどもたちへ』を合言葉に農地・森林保全、環境学習等を行っています。

ワークは親子体験学習やボランティア募集の広告作り、環境学習の教材づくり、森の整備。冊子やチラシ、教材・紙芝居は完成し、間伐後の木々の整備も大方終わりました。

受入団体代表の須藤さんのご自宅にホームステイして、交代で食事準備を手伝いました。

今まで作成した資料から須藤さんの里山保全、環境学習への強い思いを改めて感じ、その思いをどうにか形にしたいと作成に励んだ。大木の倒れる瞬間や皮剥がし等、森林の中で初めてすることや見るものも多く、それぞれが新鮮な気持ちで活動することができた。

(リーダーの山下優那さんより、抜粋)

山下さん(ゆうな)からのもっと詳しい報告は[こちら](#) または上のQRコードまで！

③ 参加者募集中☆ 4月の活動予定一覧表

[\(目次へ戻る\)](#)

開始	終了	開催地	主なワーク	種類
04/01	09/30	北海道函館市	アフガニスタンからの移住家族の補佐	国長
04/02	04/03	三重県いなべ市	伝統行事「春の大祭」の運営サポート	国超
04/02	04/03	奈良県御所市	「杉浦農園」の無農薬畑の手入れ	国超
04/08	05/31	鹿児島県和泊町	離島で人手不足の農家で花や芋の手入れ	国長
04/09	04/10	石川県加賀市	伝統建築保全地区で春の農作業	国超
04/16	-	オンライン+神奈川県横浜市	国際ワークキャンプ経験談を共有	イベ
04/16	04/17	徳島県徳島市	春の阿波踊りでエコステーションの運営	国超
04/22	-	神奈川県横浜市	NICE Bar『新職員と交流しよう〜!』	イベ
04/23	04/24	大阪府富田林市	間伐、倒木の皮むき、草刈りで里山保全	国超
04/23	05/07	ドイツ Gromitz	バルチック海岸のキャンプ場を整備	海短
04/29	05/03	山形県最上町	種まき、平飼養鶏手伝い	国超
04/29	05/05	青森県鮎ヶ沢町	世界自然遺産・白神山地のブナ林保護	国短
04/29	05/08	モンゴル Buhug	雄大な草原で、自然再生のため樺を植林	海短

* ここでは4月開始分のみを記載（この他に3月以前に開始し、4月にも行う活動もございます。）

* ワークの色は主な分野（複数の場合も多いが、一つに限定）：環境 農業 開発 文化・平和 教育 福祉

* 種類：国長＝国内中長期（30日間～1年間）、国短＝国内短期（7～29日間）、国超＝国内超短期・週末（1～6日間）、海長＝海外中長期、海短＝海外短期、イベ＝イベント。

* ウクライナアクション第2弾、特別週末ワークキャンプも開催に向けて調整中です。

【事務局日記 ～今回は新職員2名のご紹介】

[\(目次へ戻る\)](#)

コロナ禍はNICEにも大きな影響を与え、この2年間は『耐え忍ぶ時期』として活動を縮小しました。が、この3月から新職員2名を迎え、国際ボランティア活動を再興してさせて参ります！

海外事業部 大石絵里

（えりりん）



英・米に10年間勤務！学生時代はworkcampにも参加した頼れるお姉さん

寄付事業部 佐藤将太

（けいしゅー）



実は現役プロレスラー。国内外でリライアント多数経験した、大関激似のお兄さん

新職員の詳しいプロフィールは[こちら](#)か以下のQRから



皆さまのお陰で先月も順調に活動を続け、各地で様々な成果を生み出すことができました☆
今月も一層力を込めて実行して参りますので、引き続き、ご参加・ご協力をお願い致します！

特定非営利活動法人 NICE（日本国際ワークキャンプセンター）

NICE 月例報告書（2022年4月号）

2022年4月11日発行

編集：開澤真一郎（NICE代表） / 佐藤将太（寄付事業部主任）

ウェブ：<https://www.nice1.gr.jp> メール：donation@nice1.gr.jp（佐藤）